

## ■石手川ダムの放流警報について

放流警報は、ダム上流の降雨により流入量が増加して「コンジットゲート」から放流を行う場合に、下流河川の水位が上昇し河川敷に入ると危険な為、事故を未然に防ぐことを目的として、放流に関する情報を一般住民及び関係機関に周知するものです。

### 1. 石手川ダムの「放流」とは

石手川ダムには、以下に示す3つの放流設備があり、**コンジットゲートから水を流すことを「放流」と**言います。

ゲート名称と使用目的	(別紙-1 参照)
------------	-----------

- ①ホロージェットバルブ  
水道用水、農業用水などの利水補給及び小出水の貯水位維持に使用。(最大放流能力：10.1m<sup>3</sup>/s)
- ②**コンジットゲート**  
洪水調節及び中小出水の貯水位維持に使用。
- ③クレストゲート (2門)  
計画規模を上回る洪水時に、ダムからの放流量をコントロールするために使用。(コンジットゲートと併用)

### 2. 石手川ダムの放流警報（放流に関する情報のお知らせ）について

石手川ダムでは、関係機関、石手川筋関連機関及び一般住民に対して、放流に関する警報活動や情報提供を行っています。

#### 1) 関係機関（愛媛県、関係市町村、報道機関等）への通知

洪水の状況に応じて、定型文書をFAXにより通知しています。

## 2) 石手川筋関連機関への通知

各関連機関の施設に対して、ダム放流による影響が予想された時には、下記機関に電話による通知を行っています。

関連機関	備考
ホテル奥道後	
水管理センター (市之井手浄水場)	
四国電力	
石手川筋の9井堰	放流開始の1時間前

## 3) 一般住民への周知

### 周知の方法

#### ① 警報局からのサイレン・スピーカーによる警報

石手川ダム～重信川河口の間には、合計28カ所の警報局（サイレン・スピーカ局15カ所、スピーカー局13カ所）があり、**ダムに近接する3警報局**（管理庁舎、宿野、末）は**放流開始約30分前及び放流開始直前に、その他の25警報局**は、各警報所地点の**水位が上昇すると予想される約30分前に警報**を行います。

サイレン局（管理庁舎、宿野、末）

#### 予告警報＋サイレン（放流開始約30分前）

「こちらは、国土交通省石手川ダム管理支所でございます。**まもなく石手川ダムから放流を行います。**危険ですから河原に降りないでください。」

#### 放流中の警報＋サイレン（放流開始直前）

「こちらは、国土交通省石手川ダム管理支所でございます。**現在、石手川ダムから放流を行っております。**危険ですから河原に降りないでください。」

\*サイレンの鳴らし方は、上記警報文を放送後「50秒鳴って5秒休み」を3回繰り返します。

吹鳴      休み      吹鳴      休み      吹鳴  
**50秒**      **5秒**      **50秒**      **5秒**      **50秒**

サイレン局（その他12カ所）

#### 放流中の警報＋サイレン（水位上昇の約30分前）

スピーカー局（13カ所）

#### 放流中の警報のみ（水位上昇の約30分前）

## ②警報車からのスピーカーによる警報

警報車2台が河川の両岸に分かれ、ダムから重信川河口まで、スピーカーによる警報を行いながら巡回します。  
警報内容は、警報所からの警報内容と同じです。

**\*ダム～末警報所間は、予告警報、放流中の警報の2回、  
末警報所～重信川河口間は、放流中の警報のみ。**

## ③放流情報表示装置（電光表示装置）による警報

石手川の湯渡橋～松山中央公園間の7カ所に電光表示装置を設置しており、ダムから放流しているときは、「◇**雨のため増水に注意**◇」と表示します。

## ④報道機関による警報

報道機関の協力により、ダム放流情報が放送されます。

ダム全景



ホロージェット  
バルブからの  
放流の様子



コンジット  
ゲートからの  
放流の様子



クレストゲート

